

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 1434 号	氏名	井上 大
学位審査委員		主査	井上 剛
		副査	酒井 英樹
		副査	前村 浩二
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、新たに同定されたミトコンドリア機能改善薬であるインドール-3-酢酸誘導体である <b>Mitochonic acid-5 (MA-5)</b> が、腹膜線維化に対して有効であるかについて検証を行ったものであり、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 クロルヘキシジングルコン酸 (CG) 誘発性マウス腹膜線維化モデルを用いて、壁側腹膜の線維性肥厚、線維化マーカー、酸化ストレス、ミトコンドリア機能評価などの各種解析を行った。これらの一連の手法も、本研究目的を明らかにする上で妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、CG 誘発性マウス腹膜線維化モデルにおいて、<b>MA-5</b> はミトコンドリア機能の回復・酸化ストレスの軽減を介して腹膜へのマクロファージ浸潤を抑制し、腹膜線維化を軽減する機序が示唆された。腹膜線維化に対する新たな治療薬開発へと繋がる研究であり、今後の研究の進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は腹膜線維化進展の研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			